

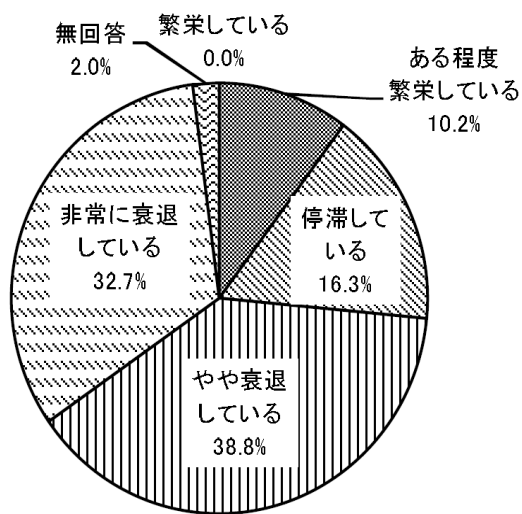
府中市中心市街地の現況と課題

■府中市商店街連合会に加盟している商店街に実施したアンケート調査(抜粋)

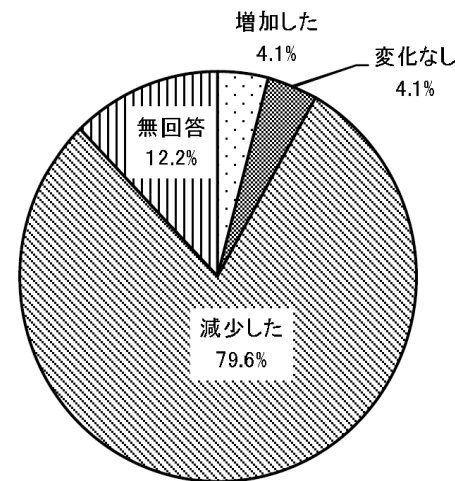
※平成25年6月～7月実施

・おおむね10年前と比較した商店街の景況や経営動向についてみると、景況は停滞・衰退、経営動向については減少の傾向が顕著であり、厳しい経営状況であることが分かる。

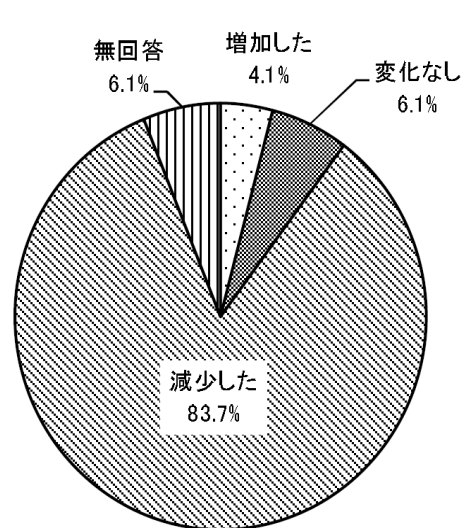
商店街全体の景況 (n= 49)



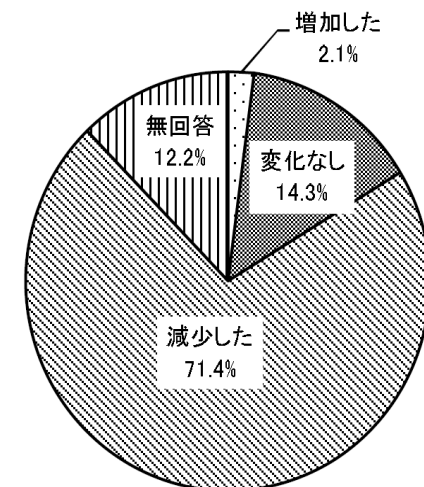
加盟会員店舗の平均的な売上高の動向 (n= 49)



加盟会員店舗の平均的な客数の動向 (n= 49)



加盟会員店舗の平均的な客単価の動向 (n= 49)



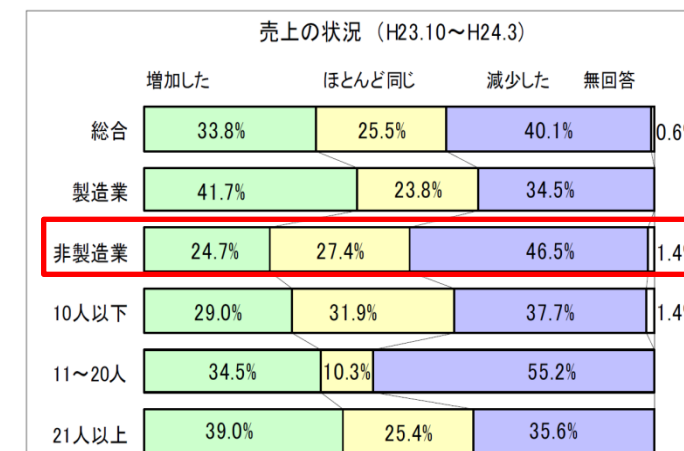
出典:平成26年府中市商店街振興プラン

■むさし府中商工会議所 景況調査結果(抜粋)

【小売・卸売・飲食業】

- ・販売不振のため乱売が激しい。零細企業にとっては勝ち残ることが必ずしも幸とは言えない状況。
- ・消費単価は下落する一方だが、消費やサービスに対して求められる水準は高くなっているため、利益水準は大幅に低くなっている。消費税が増税になった場合、廃業する業者は増加すると思う。
- ・当店では原料を国産品から仕入れているため、経常利益率が落ちてきた。
- ・人手不足だが、利益も減少しているので雇えない。
- ・若い人ほど昼食に弁当を持参するようになり、外食の需要が落ちている。

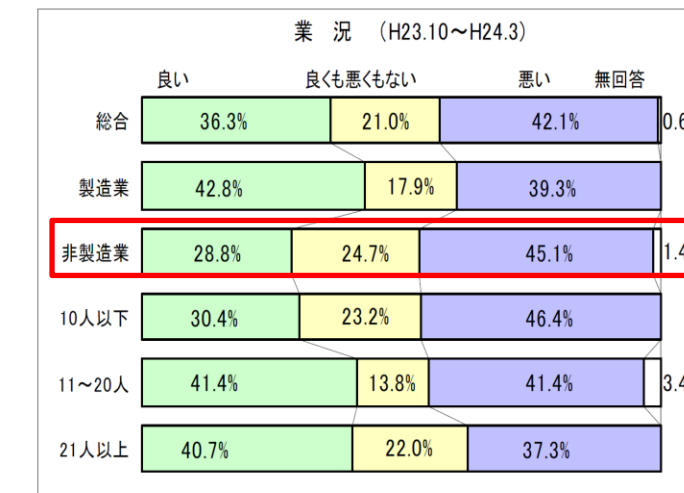
(1) 売上について



ここがポイント!

総合では、「減少した」割合が「増加した」割合より6.3ポイント高い。
業種別では、「増加した」割合は製造業が非製造業に比べ17.0ポイント高い。
規模別では、「増加した」割合は「21人以上」で39.0%と最も高く、「減少した」割合は「11～20人」で55.2%と最も高い。

(7) 業況について



ここがポイント!

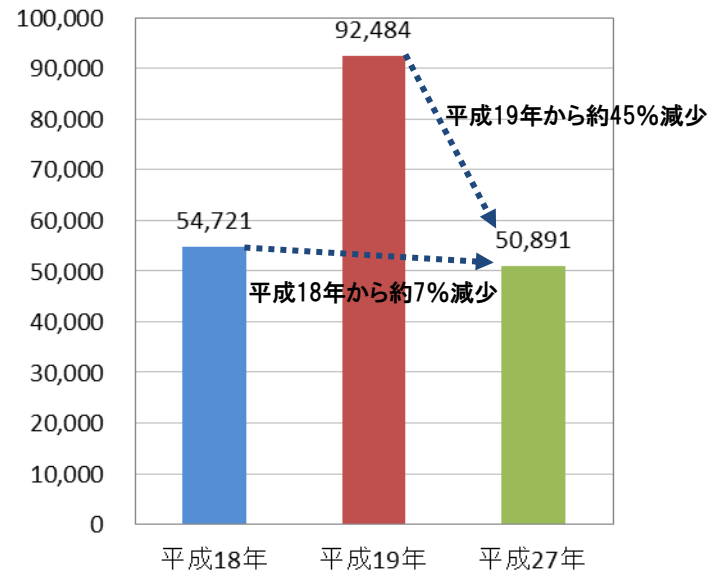
総合では、「悪い」割合が「良い」割合より5.8ポイント高い。
業種別では、「良い」割合は製造業が非製造業に比べ14.0ポイント高い。
規模別では、「良い」割合が「11～20人」で41.4%と最も高く、「悪い」割合は「10人以下」で46.4%と最も高い。

出典:むさし府中商工会議所 平成24年府中市商工業景況調査報告書

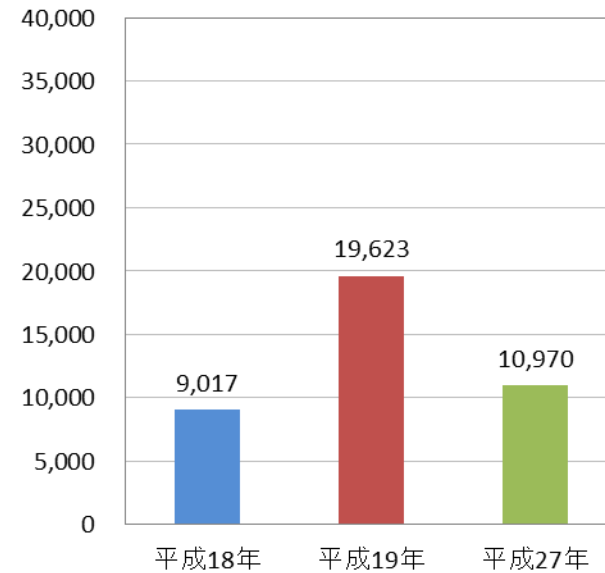
歩行者交通量調査の調査結果について

平成27年4月12日(日)に歩行者交通量調査を実施しました。そのうち、平成18年と平成19年に歩行者交通量調査を実施している3箇所について、今回の調査と過年度の調査結果を比較しました。その結果、府中駅南及びフォーリス前の歩行者交通量が大きく減少していることもあり、過年度の結果と比較して、**合計値は平成18年から約7%、平成19年から約45%減少している**ことが分かりました。

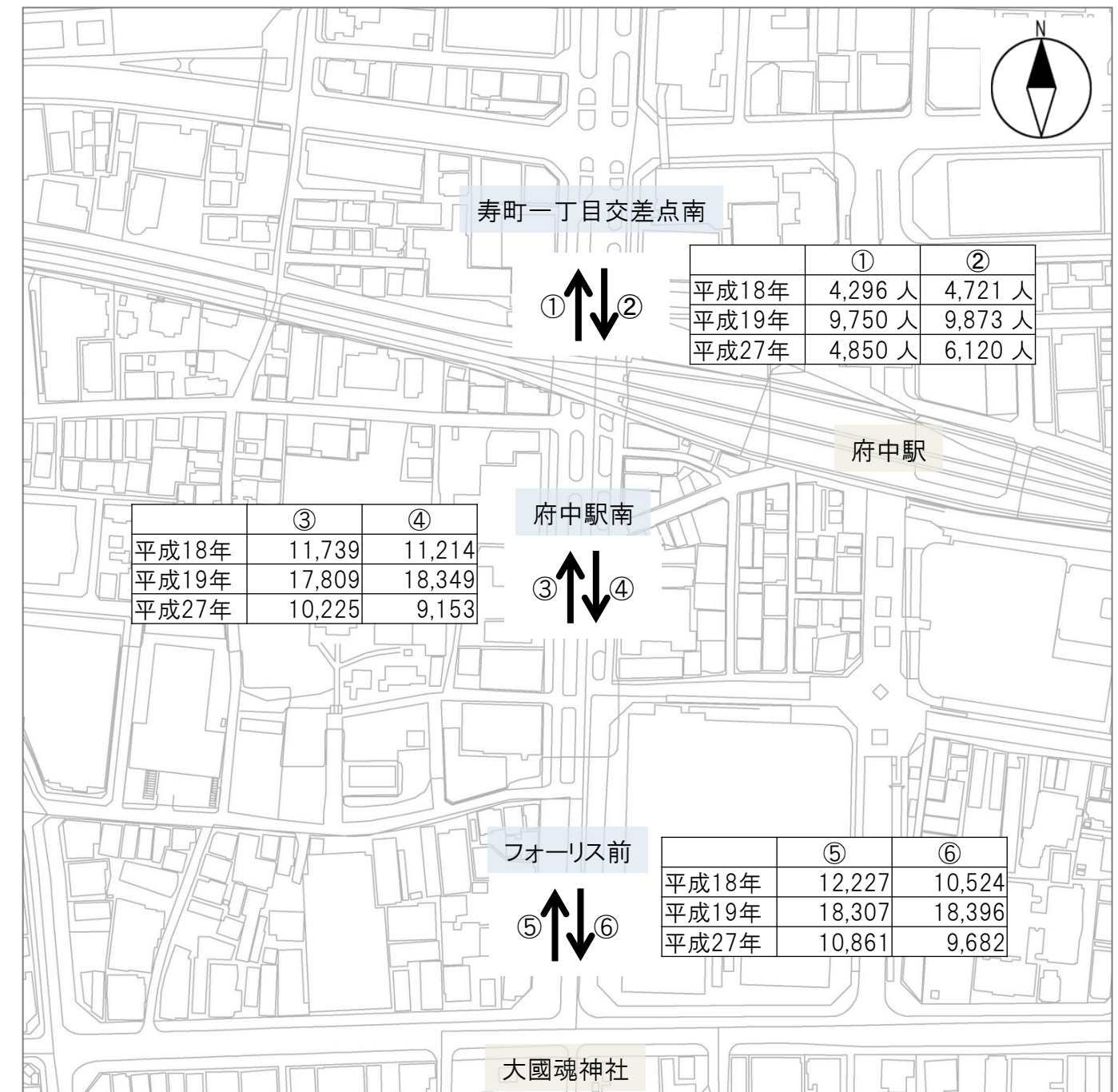
■ 3箇所の合計の比較



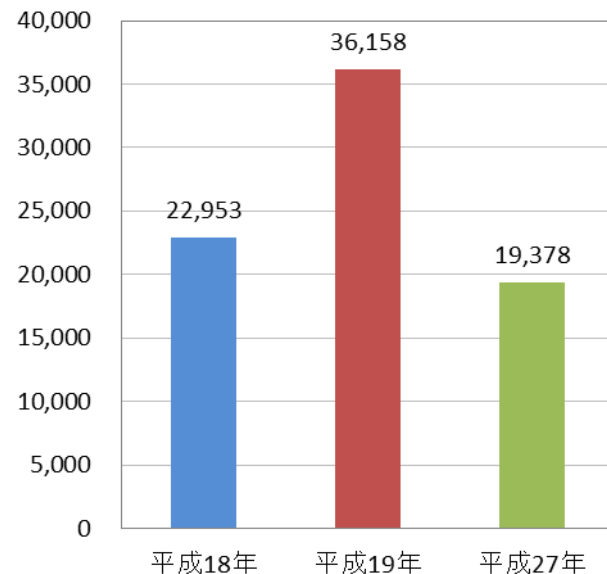
■ 寿町一丁目交差点南



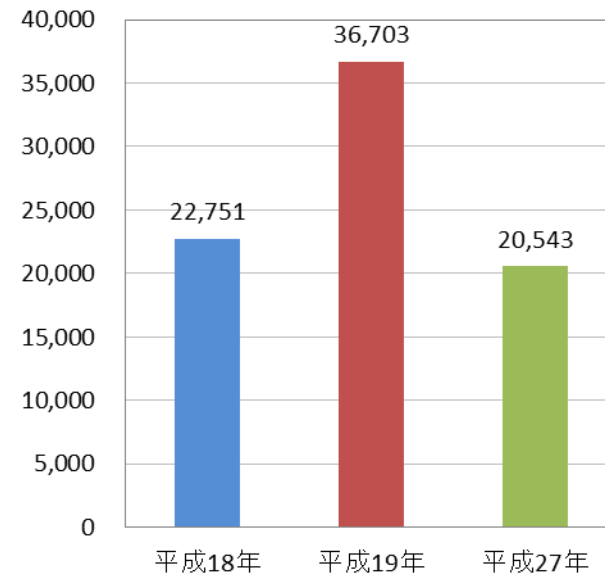
■ 歩行者交通量調査地点及び調査結果



■ 府中駅南



■ フォーリス前



H18:平成18年度交通量調査結果(休日)
 H19:けやきフェスタ交通量調査結果
 H27:平成27年4月12日調査結果